



おおの 議会だより

新成人の門出を祝う！（1月8日挙行）

No.196 平成29年1月25日

▼ 主な 内容 ▲ ▲ ▲ ▲ ▲	12月定例会の概要	2ページ
	一般質問の概要	3～8ページ
	議案等の各議員表決	9・10ページ
	提出意見書の内容	10ページ
	決算審査の概要	11ページ
	常任委員会審査Q & A	12・13ページ
	委員会視察レポート	13ページ
特別委員会報告	14ページ	

大野市議会では、ホームページでも議会日程や議案等の審議経過及び結果、会議録などの議会情報を掲載しています。ぜひ閲覧してください。



発行：大野市議会
〒912-8666 福井県大野市天神町1-1
Tel 0779-64-4830 Fax 0779-65-3021
<http://www.city.ono.fukui.jp/>
編集：議会だより編集委員会

12月定例会の概要

第401回定例会市議会は、11月28日から12月14日までの17日間の会期で開催されました。

今回の定例会では、平成28年度の一般会計補正予算案、条例の制定・改正、指定管理者の指定、財産の取得など、全22議案のほか、議員提出の市会案2件と9月定例会から継続審査となっていた平成27年度決算認定議案2件、そして陳情8件について審議しました。審議結果は、9・10ページのとおりです。

一般会計予算に追加 6億7579万円を

平成28年度一般会計予算に6億7579万円が追加され、予算の累計が187億5476万円になりました。前年度と比較すると、2・2割の増です。

国の追加補正などに対応する事業費や除雪経費などの追加と、職員給与費等の調整などがなされました。

追加工理センターの空調設備修繕費や国の追加内示による管きよ整備費の増額が、正の内容です。

その他の特別会計は職員給与費の調整が主な補正の内容です。

特別会計補正予算

国民健康保険事業では、マイナンバー関係のシステム改修に係る経費と退職被保険者に係る還付金の増額、介護保険事業では、制度改正に伴うシステムの改修経費の増額、下水道事業では、下水道処

補正のあった主な内容	補正額
★ 阿難祖地頭方地区や友江地区で地籍調査を実施する経費	1587万円
★ 県営土地改良事業の増額に伴う市負担金の増額	3970万円
★ 旧宇野・黒原邸に絵画等の展示ギャラリーや交流施設を整備する経費	1億4995万円
★ 和泉地区に化石発掘体験ができる施設を建設する経費	1億6820万円
★ 道路のり面対策工事費の増額	3000万円
★ 市道改良工事費の増額	2001万円
★ 橋りょうの定期点検業務費用や3橋りょうの補修工事費の増額	4551万円
★ 除雪委託料などの増額	1億2480万円
★ 亀山ののり面改良などを実施する経費	2441万円
★ 文化会館整備に関する基本計画を策定する経費	1891万円

その他の議案

財産の取得

国時町にある雇用促進住宅の土地及び建物を取得することを認めました。

取得した内容は土地6096・04平方メートル、鉄筋コンクリート造り5階建ての共同住宅2棟及び付属建物4棟です。今後、80戸ある住宅のうち、50戸を市営住宅として、30戸を定住対策用の住宅として活用することとなります。

農業集落排水施設の使用料金の改定

佐開地区、南六呂師地区及び富田南部地区の処理施設使用料金が引き上げられました。

うらら館使用料の改定

うらら館の営業再開に伴い、使用料が見直され、他の温浴施設と同様の料金体系となりました。

指定管理者を指定

各施設の指定管理者を次のように指定することを認めました。

ぶなの木台コミュニティセンターⅡ 同センター運営委員会 和泉総合福祉センターⅡ(福)大野市社会福祉協議会 児童デイサービスセンターⅡ(医)平谷こども発達クリニック 木本集落センターⅡ 同センター運営委員会 道の駅九頭竜Ⅱ 福井和泉リゾート(株)。

市議会本会議を傍聴しましょう

本会議は、どなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、議会事務局(3階)で受付を済ませてから、傍聴席(R階)にお入りください。

なお、12月定例会の傍聴者数は、本会議5日間で60人でした。

次回、平成29年3月定例会の予定は次のとおりです。

日程(案)	区分	審議等の内容
2月27日	月 本会議	常任委員会・議会運営委員会委員の選任議案上程、提案理由説明
3月6日	月 本会議	代表質問、(一般質問)
7日	火 本会議	一般質問
8日	水 本会議	一般質問、請願・陳情上程
9日	木 委員会	10:00 産経建設常任委員会
10日	金 委員会	10:00 産経建設・民生環境常任委員会
13日	月 委員会	10:00 民生環境・総務文教常任委員会
14日	火 委員会	10:00 総務文教常任委員会
15日	水 委員会	10:00 中部縦貫自動車道等幹線道路整備促進特別委員会 13:00 人口減少・若者定住対策特別委員会
17日	金 本会議	各委員長報告、質疑・討論・採決

※予定のため変更になる場合があります。

※本会議の開会は、いずれも午前10時を予定していますが、遅れる場合もあります。

小中学校再編計画案とまちづくりの 今後のスケジュールは



教育委員会で検討させていただく

問 学校再編計画案の住民説明会の会場では十分ご理解いただいたのか。

答 素案から計画案になるときも、当初のスケジュールよりも時期が遅れたが、「慎重にしているのが時間がかかる」ということだった。今回も慎重を期する必要があるのでは。また、今後、小学校と中学校を別々に議論する等、各地域でより時間をかけて進めることが必要と考えるが、1月計画策定のスケジュールを守る考えか。

答 教育委員会の中で検討させていただきたい。

問 学校の先生方に再編による各学校のメリット、デメリット等を作ったうえで判断材料の一つとする必要性についてどう考えているか。

答 また、教育委員会の議事録は、翌月の会議で承認を得て公表となっているが、1月計画策定まで時間が少ない。市民へ早

創生おおの

かねい
兼井

まさる
大議員

くお知らせするという意味で翌月まで公開できないルールを改革する必要はないか。

答 教育委員会の中で検討させていただきたい。

問 これまで化石発掘体験の所管は和泉支所であったが、市全体の関連情報が集まる商工観光振興課とすることで、他の施策等と深く連携が可能になり、より強力に進められるのでは。

答 所管については、今後、議員が言われたことも含め、検討していきたい。

問 3歳児健診や就学時健診時の両目解放型視力検査機による視力検査によって早期に目の異常(近くを見る力等)を発見し、適切な治療につなげる環境整備の必要性は。

答 視力検査機による検査の導入については、今後、眼科医師のご意見を基に検討していきたい。

六呂師高原スキー体験施設整備計画は



六呂師高原にスポーツ・体験観光の拠点となる スキー体験施設を整備する

問 六呂師高原スキー体験施設整備計画の詳細な全体像は。

答 県が整備するもので、現在、第1期工事が進められている。内容は、旧六呂師スキー場のゲレンデ下部にスキーエリアとして3・7鈔を造成し、Tバーリフト2基、全長で300鈔設置。また、そりエリア0・7鈔の整備や、妻平ヒュッテ1階を休憩所として利用するための改修を行う。また、ゲレンデ整備用の圧雪車やパトロール用のスノーモービル購入など、管理運営に必要な備品も整備する。県は、全体計画を再度検討して、平成29年度には夏スキー用の人工ゲレンデとペアリフトを整備し、32年度の利用者目標を1万6000人に設定して、収支の均衡を図るよう考えている。

問 整備された施設の管理運営は。

答 県と協議の上、本市が指定管理を受け管理運営を行うこととなり、現在、市から管理業務を委託する業者の選定作業を進めている。

問 市の現在の財政状況は。また、人口減少に伴う財政状況の見通しは。

答 平成27年6月に大野市行政改革推進プランを定め、行政改革を進めている。財政状況は、実質公債費比率6・3鈔、将来負担比率37・4鈔で、基準を十分満たしており、健全な状態にある。しかし、定住人口が総合計画策定当初に推計した目標値より早いスピードで減少しているため、経費の節減などに努めたい。

問 市公共施設での指定管理者制度導入の利点は。

答 サービスの向上や経費の削減が期待される。引き続き導入の効果が発揮されるよう努めたい。

誠和会・公明党

とうどう
藤堂

かつよし
勝義 議員

二元代表制をどのように捉えているか



創生おおの

梅林 うめばやし

厚子 あつこ 議員

議会や市民への丁寧で真摯な対応を心掛ける

問 憲法で定められている二元代表制に対して、議員の経験もある市長としてどのように捉え、生かしているか。

答 市議会議員を務めさせていただいた経験から、市議会の皆さまの職責の重さを十分理解している。今後も市議会や市民の皆さまに丁寧で真摯な対応を心掛けていく。

問 最近の各計画及び計画案等々に対して、説明不足を感じ、アカウンタビリティーに反すると思われるが。

答 3カ月に1回の議会定例会だけでなく、月1回開催の議員全員協議会で、できるだけ進捗（しんちよく）を説明している。

問 説明においては謙虚な気持ちがあれば、市民感情としてもいろんな問題が出てくる。議員としても市民に十分な説明ができない。計画等の策定に係る説明に対して全

庁でルールなどあるのか。

答 一定のルールはなく、それぞれの事業計画等に依りて、どの段階で説明するかを個別に決めている。

問 経常収支比率悪化を回復するため、平成29年度はどのような対策を打つのか。

答 市税などの徴収率を上げるしか方法がないと考える。

問 平成27年度市債残高149億4838万円余。継続中の公共下水道事業等将来的な市債を含めると市債総額はどれくらいか。

答 将来の大型プロジェクトは、どのような補助事業や市債が充てられるのか不明で計算をしていない。

※二元代表制は住民が直接選挙で、首長と議会の議員を別々に選ぶ制度。首長の権限は予算や条例などの議案提出や人事など幅広い。議会は議案の議決などで首長の行政運営を監視する。

一般質問

国道158号境寺・計石バイパスの実現については



創生おおの

畑中 はたなか

章男 あきお 議員

県は平成35年度供用開始を目標に進めている

問 六呂師高原再開発について、県との協議はどうなっているのか。どのような計画で進んでいくのか。

答 現在、県において第1期の整備工事が進められており、旧ゲレンデ下部にスキーエリア3・7を造成し、Tバーリフトを2基設置するとともに、そりエリアの整備や妻平ヒュッテの改修をしている。また、平成29年度には夏スキー用の人工ゲレンデ及びペアリフトを整備する。

問 富田地区の産業団地整備について、平成31年度造成完了に向け企業誘致や産業立地のための行動をしていくべきであるがどうか。

答 企業誘致については、製造業や物流関連企業、IT企業を中心に行っている。本年度は12社に企

業訪問を行いPRしている。また、地元企業の動向把握と関連企業の情報把握、県との連携や人的ネットワークを強化する。

問 団地造成の事業費内訳や資金調達については。

答 約17・2分の区域を造成し、平成32年度から分譲していく予定で、工事費に15億円、調査・測量・設計費に5000万円、用地費に4億5000万円、用地費に4億5000万円の合計約20億円を見込む。

問 人口減少と空き家対策について、市民の満足度調査を実施し、ヒントを得てはどうか。

答 今後、福祉や防災、農林業、観光などの取り組みにおいて、アンケート調査やパブリックコメントを実施して市民の声を聞き、人口減少対策にもつなげていきたいと考えている。

小中学校再編計画を平成29年1月に 決定するのは延期すべきでは

教育委員会や総合教育会議で議論し、
決めていきたい



日本共産党大野市議団

野村 勝人 議員

- 問** 計画策定の条件とは何か。また、その条件は整ったのか。
- 答** 計画案では中学校再編の時期を平成35年としており、今後、基本構想の中で新築する候補地を定め、さらに基本計画や実施設計にかかる期間、また新築にかかる工事期間を考えると、1月にはこの計画を策定したい。
- 問** 決定するための条件に、住民の意見は入らないのか。
- 答** 計画素案をいろいろな形で市民に説明し、ご意見をいただいて計画案を作成した。学校教育に関する将来のビジョンをどうするかといった、「専門の方の話も聞きたい」という保護者の方からの意見を受け、今回の計画案の説明会では、教育長が直接、丁寧に説明させていただいた。
- 問** 平成29年度に再編に係る予算を盛り込む予定なのか。
- 答** 計画に基づき、基本構想策定に係る経費を平成29年度の当初予算に計上したい。
- 問** 就学援助費のうち、新入学児童・生徒学用品費が、要保護世帯に該当する児童・生徒は入学を待たずに支給されているが、要保護世帯の児童・生徒は、1学期終了後の8月に支給されている。援助を必要とする入学前を支給時期とすることに合わせ、支給額の増額や支給対象者の範囲の改善も必要ではないか。
- 答** 支給時期を前年度に前倒ししている自治体の現状や課題について調査を行いたい。金額についても同様である。学校と連携し、的確な情報収集に努め、現在の基準に基づき支援することで、子どもたちがすくすくと学業できるよう取り組んでいく。

観光地域づくりには 「舵取り役」が必要では

大野市にふさわしい観光推進体制の在り方や
地域連携の方策を検討



創生おおの

高田 育昌 議員

- 問** 他の自治体との観光若しくはPRにおける連携の具体的な内容は。
- 答** 広域的な観光推進12団体に加盟。主なものとして(公社)福井県観光連盟、越前美濃街道広域観光交通推進協議会、環白山広域観光推進協議会などがある。観光商談会や観光プロモーション動画の作成、配信、住民交流事業、マスコミキャラバンや情報誌の発刊等に取り組んでいる。
- 問** 勝山市との観光における連携は。
- 答** 奥越前観光連盟を軸として、周遊性を高めるための事業を行っている。周遊・滞在型観光エリアの創出に向け、永平寺町も含めた3市町による創出計画を策定中である。
- 問** 日本版DMO(観光経営法人)を中心として、統一した観光地域づくりをする考えは。
- 答** 本市には(一社)大野市観光協会、大野商工会議所、(株)結のまち越前おおの、(株)平成大野屋、(一財)越前おおの農林薬舎など、観光に関連する多様な団体があり、各団体が実施する事業をコーディネートなど、これまで以上に効果的に事業を推進していくことが必要と考える。本年度は、本市を取り巻く観光の現状を把握するための基礎調査を行い、課題を整理した上で、本市におけるDMOの枠組みの提案を受ける「大野版観光DMO設立・連携検討支援等業務」を委託事業として実施している。
- 問** 9月20日に発令された避難準備情報の解除後の検証はいかがか。
- 答** 避難準備情報を発令した浸水想定区域の区長にアンケート調査を実施。これらの意見は、今後の防災対策につながる重要なものとして認識している。

一般質問

税金が原資。

「市長交際費」支出先の公開を

なるべく情報の公開には
応じなければならないと考えている



日本共産党大野市議団
さかえ
榮 正夫 議員
まさお

問 市長交際費について、2015年度の支出額を県下9市と比較すると、総額で坂井市の222万6518円に次いで207万3441円と多く、市民一人当たりで換算すると、福井市は2・4円、敦賀市14・2円、小浜市40・8円、大野市59・1円、勝山市27・1円、鯖江市は0・39円、あわら市37・7円、越前市14・2円、坂井市23・9円、福井県1・1円となる。「交際費としての支出の適否」は、全国市長会の機関紙リスクマネジメントに判断基準が示されているところである。原資が税金である以上、慶弔費や接遇・渉外費であっても、支出先は公開されるべきだと思うがどうか。また、公にすることが予定される情報であり、個人に関する情報にはあたるのではないのか。

答 市長交際費は、市長や副市長が、大野市の利益のために対外的な折衝や交際上必要な活動を行うための経費、災害に対する見舞金などに要する経費として計上しているものである。

できるだけ情報の公開に努めなければいけないと存じている。一方で、情報公開条例の施行から18年が経過し、これまで非公開と決定した事項に対する異議申し立てについて情報公開審査会に諮問してきており、その答申の一つに、慶弔や懇談会に係る交際費は、公にすることが予定されている情報ではなく、当時の条例第9条7号の規定により個人情報として非公開が妥当と判断されている。このように積み重ねてきた情報公開の事業の運用の中で対応しているところである。

一般質問

木質バイオマス発電施設誘致を契機とした 森林整備の方向性は

低質間伐材の供給先が確保され、林業経営が改善。
天然林の間伐も前向きに検討したい



新生おおの
まつばら
松原 啓治 議員
けいじ

問 平成28年春に、福井グリーンパワーが事業をはじめ、発電を行っている。電力を生み出す原料に、建築用材になれない木材を使用しており、これが大野市及び県内、そして近隣の市町などの森林の整備に役立つことを考えると、最良の企業誘致であったと実感している。

答 そこで、森林を整備した木材を利用できることは、より自然環境を守り、森林の整備が進むものと考えられるが、大野市は今後、どのように事業を推進していく予定なのか。

答 本市の広大な森林が持つ、水資源の貯留、土砂災害防止や土壌保全、二酸化炭素の吸収、保健やレクリエーション利用など、多面的機能が十分に発揮されるためには間伐等の森林保全が重要であり、平成28年4月の木質バイオマス発電所の稼働により低質間伐材の供給先が確保され、林業経営が改善することで、さらに間伐が進むという好循環が確立しつつあると考えている。

これまで全国的に、人工林の間伐は進められてきたが、天然林、自然林は進んでおらず、放置されることでナラ枯れも起きていくという状況も見受けられるため、人工林だけでなく、天然林の間伐についても前向きに検討していきたい。



約1万本ものブナが約40センチわたりおおい茂る平家平

免許取得者の高齢化や再編に伴う通学等、安全な交通網をどのように整備していくのか

通学などにも配慮した公共交通網を再構築する 地域公共交通網形成計画を、平成30年度に策定したい



立志会

ひろた

憲徳 議員

問 今後の安全な交通網を、どのように整備していくのか。

答 大野市公共交通活性化協議会に、新たに教育分野などの関係者を加え、通学などにも配慮した公共交通網を再構築する地域公共交通網形成計画を策定したいと考えている。

この計画は、まちづくり、観光、さらには健康、福祉、教育、環境などのさまざまな分野と連携しながら、公共交通ネットワークを再構築するものである。

今後JR越美北線や広域路線バスを確保、維持しつつ、乗合タクシーなど地域の特性に応じた交通サービスを組み合わせるとともに、現在、日進月歩している自動運転技術の活用も視野に入れ、総合的、一体的かつ効率的で、より安全・安心な公共交通網を整備したい

と考えている。

問 第七次大野市行政改革大綱の実践で、市民と接することの多い消防本部では、職員の意識改革と人材育成に関し、どのような取り組みを行っているのか。

答 本年度の組織目標に職員力の強化を掲げており、教育や訓練などを実施し、知識や技能の向上を図るだけでなく、主体性、自立性を持った消防職員としての資質向上を目標として、平成28年4月に管理職職員を含め、7人で構成する人材育成委員会を立ち上げ、効果的な人材育成に消防本部全体で取り組んでいる。制服を着用した消防職員として、規律を重んじ、接遇に関して、しっかりと職員に教育を実施している。

地方創生の今後の進め方は

重要業績評価指標を検証して政策に反映



立志会

ほりた

昭一 議員

問 地方創生の今後の事業と、その進め方は。

答 まずは市民の地域に対する自信と誇りを醸成することが重要。このため、越前おおのブランド戦略の分野別ブランド化戦略をより深化させ、本市の認知度、魅力度のアップにつながる施策を展開する。その一つに、本市のあらゆる魅力を来訪者に伝える核として、重点道の駅の整備に取り組む。

問 各地区のコミュニティを存続する施策は。

答 各地区において、地域資源に磨きをかけ、地域に伝わる伝統・文化の継承や、地域資源の再認識とその魅力の発信等に取り組むことができる結核の故郷づくり交付金事業を実施。また、希薄化しつつある地域コミュニティを強化するため、高齢者からの技能、知識の伝承などの取り組みを支援する世代間結核づくり事業

業を実施している。
問 移住定住対策の課題は。

答 移住相談者へのアンケートでは、移住先を選ぶ重視項目は「自然環境」「歴史・風土・まちなみ」であり、また、移住の際の不安要素は「仕事」であった。課題としては、奥越管内の求人実態は高いものの、移住希望者が求める仕事がないなどのミスマッチがあると考えられる。
問 短期滞在者を呼び込むための対処策は。

答 まずは田舎暮らしを希望する人に本市に興味を持ってもらうこと。これまで、移住希望者個々のニーズに応じた移住体験プログラムや仕事をしながら短期滞在するワークステイのメニューを提供してきた。今後、雇用促進住宅の一部を定住促進住宅国時団地として運用し、短期滞在者の利便性向上を図る。

一般質問

文化会館、小中学校3校、道の駅の新築が財政に与える影響は

各施設の財源手当ての方策は、検討途上で 今後の財政の影響は申し上げられない



創生おおの

まつた

もとえ

議員

一般質問

問 地域と学校の関係について、地域の若者の減少や地域の活力が失われるなど、市民の不安や不満が大きくなっている。「大野の未来を考える会」から3000人以上の署名を添えて提出された陳情書等は誠に重いものであるが、市長の所見は。

答 保護者や地域の皆さまなど、いろいろなご意見があるのも承知しているが、教育委員会の判断を尊重したい。

問 総合教育会議では、市長のリーダーシップの下で動いており、大野市全体のことでありと受け止めて何ら差し支えないと思うが。

答 総合教育会議での調整等はあるが、最終的な決定は教育委員会であり、その意思を尊重するというのが、教育委員会を形成している以上、そういった立場となる。

問 これからの財政運営の課題は何か。

答 本市は、人口減少対策、災害対策、少子化・高齢化対策など、行政課題が山積する一方、自主財源の確保は難しく、地方交付税や補助金などの依存財源の見通しが立てにくい。

問 将来を見据えた財政をどのようにすべきと考えるか。

答 依存財源に頼る本市としては、経費の節減を図り、国や県の補助金などを積極的に活用し、市債の発行の抑制に努めていく。

問 小中学校3校の新築は、財政的に厳しいのではないか。既存の小中学校を活用し、健全で持続できる財政の仕組みをつくるのが重要と思うが。

答 適時適切な基金への積み立てや、有利な起債の活用などで、健全な財政の維持に努めたい。

市議会のここが知りたい！ (代表質問・一般質問)

代表質問・一般質問とは？

代表・一般質問とは、議員が市の行財政全般に対して、その執行の状況又は将来の方針などについて報告を求めたり、問いただすものです。

一般質問は年4回の定例会の全てで、代表質問は3月定例会でだけ行われます。通常、定例会日程の第2週目に2～3日かけて行います。

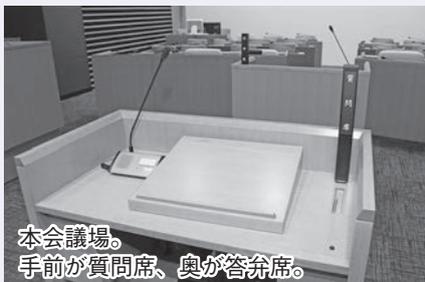
なお代表質問は、本市議会の場合、3人以上の会派だけできることとしています。

〔時間制限〕

代表質問には時間制限がありません。一般質問は、議員1人につき60分以内としています。

〔通告制〕

代表・一般質問は、執行機関の行財政全般にわたる政策論議ですので、質問する議員も受ける執行機関も共に十分な準備が必要です。代表・一般質問をより充実したものにするため、あらかじめ通告することとなり、通告の締め切りは、定例会初日



本会議場。
手前が質問席、奥が答弁席。

の翌々日の午前10時までとしています。

執行機関は、通告の内容について議長から連絡を受け、質問議員からの聞き取りなどを行い、的確な答弁ができるよう準備します。

〔再質問〕

本市議会の場合、一般質問において、より議論を深めていくため、答弁の内容について、再度確認したり、問いただしたりする「再質問」ができます。

〔一問一答方式と一括質問・答弁方式〕

一問一答方式は、各質問項目ごとに質問と執行機関の答弁を交互に繰り返す方式です。一括質問・答弁方式は、通告した質問項目を一括して質問し、まとめて答弁を受ける方式となります。本市議会では、質問通告時に選択できるようになっています。また、一括質問・答弁方式であっても再質問からは一問一答方式となります。

また、代表質問は、一括質問・答弁方式で行い、原則として再質問は行わないこととなっています。

〔その他〕

各議員がいつ・どのような質問をするのかを、通告締め切り後に大野市ホームページでお知らせします。

また、質問のやりとりを含め、本会議の内容を会議録としてまとめ、大野市ホームページで公開します。ただし、会議録の調整は一定期間を要します。

平成28年12月第401回定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

議案番号・議案名等		議員名（議席番号順）	議決結果	堀	野	廣	高	山	松	永	梅	川	宮	藤	松	高	島	兼	畑	砂	榮
				田	村	田	田	崎	田	田	林	端	澤	堂	原	岡	口	井	中	子	正
				昭	勝	憲	育	利	元	正	厚	義	秀	勝	啓	敏	大	章	三	夫	
				一	人	徳	昌	昭	榮	幸	子	秀	樹	義	治	行	榮	大	男	郎	正
64	平成27年度大野市歳入歳出決算認定について〔継続審査分〕	認定	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	×
65	平成27年度大野市水道事業会計の決算認定について〔継続審査分〕	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
70	平成28年度大野市一般会計補正予算（第3号）案	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	×
71	平成28年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）案	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	×
72	平成28年度大野市和泉診療所事業特別会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
73	平成28年度大野市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
74	平成28年度大野市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
75	平成28年度大野市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
76	平成28年度大野市下水道事業特別会計補正予算（第2号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
77	大野市工場立地法に基づく準則を定める条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
78	大野市定住促進住宅の設置及び管理に関する条例案	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	×
79	大野市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	×
80	大野市税賦課徴収条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
81	大野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
82	大野市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	×
83	大野市ファミリーリゾート休養施設設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
84	大野市営住宅条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
85	指定管理者の指定について（大野市ぶなの木台コミュニティセンター）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
86	指定管理者の指定について（大野市和泉総合福祉センター）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
87	指定管理者の指定について（大野市児童デイサービスセンター）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
88	指定管理者の指定について（大野市立農村集落多目的共同利用施設）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
89	指定管理者の指定について（大野市道の駅九頭竜）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
90	指定管理者の指定について（大野市駐車場及び大野市自転車駐車場）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
91	財産の取得について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○

議案番号・議案名等		議員名（議席番号順）	議決結果	堀田昭一	野村勝人	廣田憲徳	高田育昌	山崎利昭	松田元栄	永田正幸	梅林厚子	川端義秀	宮澤秀樹	藤堂勝義	松原啓治	高岡和行	鳥口敏榮	兼井大	畑中章男	砂子三郎	榮正夫	
				議決結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市会案	2	六呂師高原スキー体験施設の整備及び管理運営に関する意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情	5	県民の利便性を最優先に、特急「サンダーバード」[しらさぎ]の存続を求める意見書採択のための陳情〔継続審査分〕	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7	教員の働き方の改善に関する陳情書	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8	所得税法第56条の廃止を求める意見書採択について	趣旨採択	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣
	9	政府への「農業者戸別所得補償制度」の復活を求める陳情	趣旨採択	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣
	10	大野市小中学校再編計画（案）に関する陳情	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	11	大野市小中学校再編計画（案）に関する陳情	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	12	小中学校の再編を着実に進めることを求める陳情について	採択	賛	否	賛	退	賛	退	退	退	賛	賛	賛	賛	／	賛	退	退	賛	否	否
13	大野市小中学校再編計画（案）の見直しを求める陳情書	不採択	否	否	否	退	否	退	退	退	否	否	否	否	／	否	退	退	否	否	否	

（議長（高岡和行氏）は採決に加わらないので「／」で表示。退場は「退」と表示。）
 議案に賛成○、反対×。継続審査に賛成○、反対×。
 陳情の願意に賛成「賛」、願意の趣旨又は一部に賛成「趣」、願意を否とする場合「否」



六呂師高原スキーパークが12月23日に落成

県が整備を進めている六呂師高原スキー体験施設は、本市が指定管理を受託し、管理運営を行います。このため、施設利用者の拡大と利便性を高めるため、旧妻平ヒュッテから奥越高原青少年自らの家までをつなぐペアリフトと北陸初となる人エグレンデを早期に整備することや、県においても積極的にPR活動等を展開すること、そして施設の円滑な管理運営が可

意見書

▼六呂師高原スキー体験施設の整備及び管理運営に関する意見書

▼地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書

能となる環境を整えることなどを県に対し要請しました。

現在、地方議会議員は、住民ニーズの把握等多様な議員活動を行う必要性により、都市部を中心に専門化が進んでいる状況であり、また統一地方選

挙の結果では、無投票当選者の割合が高くなるなど、なり手不足が深刻な問題となっております。このため、幅広い層からの政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を、早急に実現するよう、政府関係機関へ求めました。

●請願書・陳情書の提出方法

どなたでも、市政についての希望などを、請願書や陳情書として市議会に提出することができます。請願書・陳情書ともに様式に特別の定めはありません。定例会初日の午後5時まで提出すると、その定例会で審議することとなっています。

次の事項を記載して、持参の上、提出してください。

- ①請願・陳情の趣旨（具体的に）
- ②提出年月日、提出者の住所・氏名（押印必要）
- ③請願書の場合は、紹介議員の署名（1人でよい）

●委員会の傍聴

常任委員会、特別委員会は申し出により傍聴することができます。傍聴の申し出書は、議会開会日から受け付けますので、議会事務局までお申し出ください。なお、入室できる人数に限りがあるため、先着順で受け付けを締め切らせていただく場合があります。

申し出書は自署された場合、押印は不要です。

平成27年度 歳入歳出決算を認定

▽決算特別委員会 報告の主な内容

(廣田委員長、松原副委員長
榮、畑中、島口、梅林、永田
松田)

歳入の確保を

第五次大野市総合計画の後期基本計画に基づく目標達成に向け、また人口減少対策に主眼を置いた大野市総合戦略などによる多様な取り組みを進めていく中、歳入の確保は重要課題である。

市税、介護保険料、下水道事業受益者負担金など、また各種使用料の徴収率を少しでも上げられるよう、滞納者と連絡を取り、きめ細やかで確実な徴収に努めていただきたい。

本市施設等の

維持管理費の把握を
公共施設再編計画に掲載の施設等と市が保有する道路、河川、上下水道

などのインフラ施設の資産管理については、本年度中に策定する公共施設等総合管理計画の中で定めていきたいとのこと。

修繕、更新等、適正に資産が管理されるよう、将来にわたる年度ごとの維持管理費用を的確に捉えた中で、本計画を定めていただきたい。

CWPの市外への

情報発信

キャリリングウオータープロジェクト(CWP)の市外からの寄付件数が少ない状況にある。

本事業には、「水の恵み」を世界に広く発信することで地域の活性化を目指し、本市の知名度を上げようという目的があるため、市外に対しての発信を強め、寄付を募っていただきたい。

消防団員の待遇改善

消防団員は、休日や時間帯を問わず、市民の生

命と財産を守るといって極めて危険な職務にあたり、加えて団員の確保が困難な現状を念頭に置いた上で、出場報酬など消防団員の待遇改善を考えていただきたい。また、非常備消防費全体で不用額があるため、女性消防団員の高齢者宅への防火訪問をさらに充実するなど、有効な予算執行に努められたい。



女性団員による防火訪問

婚活事業の費用対効果を

検証し、次年度へ
越前おおの婚活力ステ

アップ事業の講師費用が約490万円と非常に大きい。

過去3年間、同じ講師をお願いしているが、費用対効果も十分に検証できて、次年度につなげていただきたい。

和泉地区の誘客力向上

和泉地区の振興について、地域おこし協力隊を活用されたい。また、恐竜を前面に出した事業を行い、子どもたちの興味を誘うなど、中部縦貫自動車道の整備を見据え、同地区への誘客方法を検討されたい。



九頭竜道の駅の恐竜モニュメント

平成27年度 大野市各会計決算総括表

●一般会計

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引残高
一般会計	196億3396万円	188億681万円	8億2715万円

●特別会計

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引残高
国民健康保険事業	46億3377万円	44億5815万円	1億7562万円
和泉診療所事業	9302万円	9302万円	0万円
後期高齢者医療	3億7940万円	3億7112万円	828万円
介護保険事業 (保険事業勘定)	38億5562万円	37億4131万円	1億1431万円
介護保険事業 (介護サービス事業勘定)	1945万円	1945万円	0万円
簡易水道事業	1億5280万円	1億2808万円	2472万円
農業集落排水事業	3億1687万円	3億409万円	1278万円
下水道事業	15億2910万円	15億2730万円	180万円

●企業会計 ※収益的並びに資本的収入及び支出の合計額

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引残高
水道事業	1億9511円	2億2118万円	▲2607万円

常任委員会審査

Q & A

産経建設

(松原委員長、川端副委員長、
榮、藤堂、梅林、永田)

化石発掘センターに

設置するトイレの利便性

Q 和泉地区で整備する(仮称)結の故郷化石発掘体験センターの整備計画において、トイレ前の通路幅が狭いと思うがどうか。

A 雨天時に雨に濡れず、体験場とトイレとを往來するためには、通路幅をあまり広げることができない。また、車いすの車幅等も考慮した上での設計である。

Q 他所の観光地では、トイレの入口を2カ所設けている事例も見受けられるが、観光客等の利便性を高めるための工夫は考えられないか。

A 構造的なものは、既に決まっているが、一度検討したい。



委員会で、現在の発掘体験場と化石発掘体験センター建設予定地を調査

古民家ギャラリーの

外観を配慮して

Q 旧宇野・黒原邸を市民が所有する絵画等を展示するギャラリーへ再整備する計画において、古民家ならではの外観としてほしいが考え方は。

A 元々の建物は黒しっくいが特徴であったので、黒を基調とした外観を考えている。ただ、本施設は景観形成地区に位置していることから、外観については、景観協議会での意見を踏まえ、決定していきたい。

Q 旧宇野・黒原邸の庭

の由来などを調査して保存すべきものを見極めてほしいがどうか。

A 建物の内部から庭を見たときの眺望に併せ、伝統などを加味して、庭の配置や利用計画を検討していきたい。

CWPの周知

Q キャリングウオータープロジェクト(CWP)で給水施設などの整備を支援する東ティモール共和国への訪問で撮影した写真などの活用は。子どもたちへの周知に努めてほしいがどうか。

A 平成29年1月末に報告会を開催する予定である。現在、写真を整理している途中であり、良い

写真があれば、パネルの作成なども検討していきたい。

大型ビジネスホテルを

誘致する考え

Q 本市内で宿泊する機会があるにもかかわらず、勝山市や福井市の宿泊施設を利用している状況が見受けられることから、大型ビジネスホテルを誘致する考えはないか。

A 本年度から実施している結の宿再生促進事業により、市内既存の宿泊施設について改善を促し、多様な宿泊ニーズに応えていきたい。その段階での検討事項だと考えている。

民生環境

(山崎委員長、堀田副委員長、兼井、宮澤、高田、野村)

上下水道事業に係る

経営戦略

Q 経営戦略策定の目的は。

A 施設等の老朽化に伴う更新や、適切かつ効率

的な施設運営による維持管理を進め、経営の効率化及び健全化を図る。

Q どのような内容か。

A 例えば、公共下水道については、計画的な面整備の促進及び供用開始地区においては公共下水道への加入促進、農業集落排水事業については、施設の長寿命化を図ることなどを基本方針としている。

Q 人口減少による料金収入の確保についてはどうか。

A 今後、経営状況等により改定等が必要になる場合には、住民の理解と協力が不可欠であることから、十分な説明を行い理解を得られるよう努めたい。

結の故郷すこやか・

ゆめみらい応援券事業

Q 事業効果を検証するために行ったアンケートの結果は。

A 応援券交付時に行ったアンケートでは、「とても助かる、ありがたい」「市内で買いたい物をする機会が増えた」「2人目、3

人目を考える上で継続してほしい」「使用期限を長くしてほしい」などさまざまな意見をいただいた。

Q いただいた意見の分析や事業の検証は。

A この事業は、本市独自の子育て支援事業であることから、よりの確な子どもと子育て家庭への支援を講じることで人口減少対策にもつなげたい。



すこやか・ゆめみらい応援券

婚活力

ステップアップ事業

Q 10月に開催した「越前おおの男子と関西女子」と題した1泊2日の婚活イベントの参加状況は。

A 男性、女性それぞれ18人の参加があり、イベント終了時には、5組のカップルが誕生した。

総務文教

(畑中委員長、廣田副委員長
砂子、島口、高岡、松田)

和泉地区の地域振興

Q 和泉地区の地域振興や公共施設等の総合管理の観点から、(仮称)結の故郷化石発掘体験センターの整備について聞く。一度に何人が体験できる施設計画か。

A 一度に200人の化石発掘体験ができる。

Q 本年度行われた化石発掘体験の利用者数は。

A 国民休養地の化石発掘体験場で約3400人、

Q 委員会研修で訪問した富山県南砺市においては、ユニークな婚活活動支援を行っており、平成23年の事業開始から28年までの成婚カップルは70組を超えたと聞いている。本市も交際が結婚に結びつくまでのフォローが必要ではないか。

A 他自治体の取り組みについても研究したい。

地層のある現地で約600人の、合わせて約4000人の利用があった。**Q** センター整備後の年間入り込み客数の見込みは。

計画策定をするもの。併せて国の補助を利用して、公共施設等の建設、維持管理、運営等について、民間の経営ノウハウや資金を活用するPFIの導入可能性調査を実施するもの。

A まだ見込みを立てていない。**Q** 年間の入り込み客数の見込みや、施設の管理、誘客の手法など、ソフト面の計画を早期に作成すべきである。

A 了解した。

Q 冬期間の運用の是非について検討しては。

A 意見として聞き置く。

Q 国民休養地にある並木道の景観保全に配慮が必要である。

A 意見として聞き置く。



九頭竜国民休養地の並木道

文化会館整備

基本計画策定事業

Q 補正予算の事業内容は。

A 文化会館整備の基本

Q 基本計画の基となる文化会館整備の基本構想案を取りまとめる時期は。

A 平成29年1月の予定である。

Q 国の前倒し補正予算によることは理解するが、早い時期に今後のスケジュールを明確にしていた

だきたい。

A 了解した。

Q 文化会館建設までを視野に入れた、包括的なPFIの導入可能性調査

ができないかを、検討していただきたい。

A 意見として、聞き置く。

※PFIとは(Private Finance Initiative: プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)の略で、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法。

委員会 視察レポート

総務文教

平成28年10月4日から6日まで実施しました。

愛知県犬山市では、犬山きらめきプランについて研修しました。

犬山きらめきプランとは、「犬山の子は犬山で育てる」という副題を掲げた、現在の犬山市教育委員会の取り組みをまとめたもので、プラン内容と実践内容についての説明を受けました。

愛知県新城市では、若者議会について研修しました。

若者議会の仕事は、政策をつくり市長に答申をするというもので、若者たちが自主的に明日の市政を考えていくものです。その仕組みの内容、実績等の説明を受けました。

愛知県岡崎市では、ファシリティマネジメントについて研修しました。ファシリティマネジメントとは、市が所有する建築物等の維持保全費用

の縮減を進めるための新しい経営管理方式で、同市では、3年の準備期間を経て、平成23年度から実施しています。

その内容と導入効果、マネジメントの推進状況についての説明を受けました。



岡崎市での研修の様様

人口減少・若者定住対策

平成28年11月7日・8日に実施しました。

新潟県糸魚川市では、子ども一貫教育について研修しました。

同市の子ども一貫教育とは、ゼロ歳から18歳までの子ども一貫教育の方針と実践の総称で、その内容、策定までの背景、取り組み(事業)、成果、

課題、今後の展開などの説明を受けました。

富山県南砺市では、南砺で暮らしません課の所管事業について研修しました。

独身男女に出会いの場を提供する「婚活倶楽部」と「や、婚活支援などを行う「婚活応援団」とおせっかい」の設立など、ユニークな婚活活動支援を実践して、平成23年の事業開始から28年までの市内居住成婚カップルは70組を超えており、その内容などの説明を受けました。

また、同市の五箇山総合観光案内所にて、インバウンドの状況及び対応について研修しました。



五箇山総合観光案内所での研修の様様

特別委員会 報告

▼中部縦貫自動車道等

幹線道路整備促進

(島口委員長、藤堂副委員長、榮、畑中、梅林、松田、山崎、廣田)

中部縦貫自動車道

大野東・和泉区間については、24億2800万円の国の大型補正予算を受け、荒島第2トンネルの西勝原地区侵入路整備工事や、下山トンネル侵入路整備工事などが追加発注される予定とのこと。

一方、蕨生及び下唯野地先の道路構造物の不整合の件など、事業進捗(しんちよく)への影響を懸念する声も聞かれることから、国の今後の方針等が決定され次第、速やかに報告いただきたい。

大野市重点道の駅

〔仮称〕結の故郷

「道の駅」の指定管理予定者は、1月中旬に選定委員会で募集要項の承

認を受け、その後、募集と審査を経て、3月下旬までには決定したいとのこと。

アウトドア用品メーカー大手のモンベルと10月18日にパートナーシップを締結し、本市がモンベルの勧めるアウトドア観光地として登録されたことから、今後「道の駅」の整備について連携を図りたいとのこと。

全国で約70万人の会員を持つ同社の情報発信力は、本市のブランド発信に極めて有効であり、またアウトドアイベントを通して、本市への誘客促進も期待できる。

荒島岳登山やカヌー体験など本市の自然を生かしたアウトドアイベントの実施や、「道の駅」へのシヨップ出店についても積極的に働き掛けを行っていただきたい。

国道158号

境寺・計石バイパスについては、橋りょうや道路予備設計が行われており、関係機関と近接施工に伴う協議を、平成29年度の終了を目指し、進め

ているとのこと。

▼人口減少・若者定住対策

(永田委員長、高田副委員長、砂子、兼井、松原、宮澤、野村、堀田)

大野市総合戦略の四つの柱のうち、4番目の柱である「時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守る」とともに、地域と地域を連携する」に関連する事業について説明を受けた。

(各委員からの主な意見)
・女性ならではの優しさ
と、きめ細やかさを生かした女性消防団員による高齡者世帯への防火訪問・防災指導は、大変有意義なことである。

訪問により確認できた高齡者宅の状況を、資料として保存し、緊急時や災害発生時における高齡者の安全確保のため、健康長寿課、防災防犯課等とのさらなる連携を図っていただきたい。

・越前大野城には、歴史や文化が背景にあるので、天空の城として注目度が上がっているうちに、それに関連付けて、さらに

魅力度の向上を目指していただきたい。

・「結の故郷中学生みこし・ダンスパフォーマンス」の様子を撮ったDVDを各学校だけでなく、例えば公民館等にも置き、各地区などに貸し出せる体制を整備してPRするなど、より効果的な活用を検討いただきたい。



昨年8月に開催された中学生ダンスパフォーマンス

・「結の故郷小学生ふるさと芸能発表会」について、将来の大野市を考えたくなる子どもたちになってもらうためにも、児童の参加が単年度だけではなく、例えば参加した児童が成長したときに、もう一度行うことなどを検討していただきたい。

●インターネット放映

本会議の様態をインターネットで録画配信しています。大野市のホームページからアクセスできますので、ぜひご覧ください。

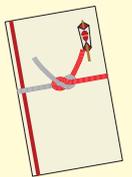
ただし、閲覧の前には、免責事項をよくお読みいただきますようお願いいたします。特にスマートフォンによる視聴は、パケット通信料定額制の加入契約をしていない場合、通信事業者から高額な料金請求がくる場合がありますのでご注意ください。

寄付行為の禁止

議員は、お祭りのときなどにお金を寄付したり、お酒を届けることを禁止されています。

有権者が求めてもいません。

(公職選挙法の規定)



編集後記

去る1月8日に平成29年の成人式が挙行されました。新成人の皆さま、おめでとうございます。ご両親などへの感謝の気持ちをお忘れずに自らの手で未来を切り開いてほしいと感じるところです。

本市では人口減少、少子高齢化社会を迎え、いろいろな施策が実行展開されています。

私たちは、今の時代を担うランナーとして、次代を担う若者や子どもたちに、より良いバトンをつなぐべく、魅力ある社会の実現を目指し、議論を深めていかなければならないと考えます。

今年(西(とり)年)です。鶏は夜明けを知らせる鳴き声から、新たな時代を開く吉祥のシンボルとされています。

市民の皆さまも、市政に興味を持って参加していただき、黎明(れいめい)を告げる年となることを願うところです。

(座長 堀田 昭二)

議会だより編集委員会

委員 堀田 昭一

野村 勝人

梅林 厚子

川端 義秀

藤堂 勝義

※次回は、4月下旬の発行を予定しています。